

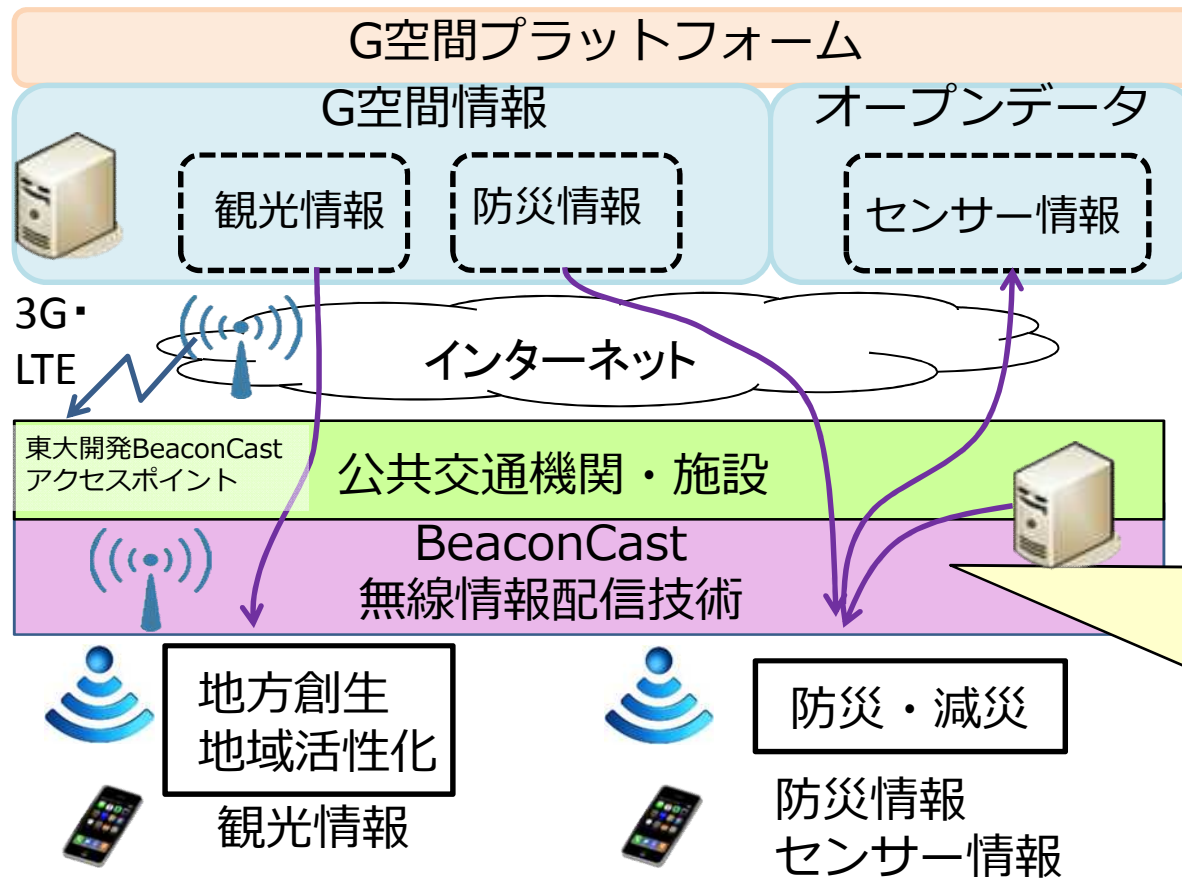
G空間を活用したインバウンド安心安全・観光情報サービスによる地方創生

G空間活用インバウンド情報通信協議会

【東京大学大学院情報学環、東京空港交通株式会社、株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス、(株)FLARE NETWORKS、大田区防災課、大田区観光課、田園調布親睦会、田園調布グリーンコミュニティ】

■ 事業の目的、目標、着眼点

2020オリンピックにおけるインバウンド観光客に対し空の玄関から都心までの公共交通機関における移動時間を利用して観光情報・安心安全情報をリアルタイムで提供し発着地での地方創生を図る



■ 具体的な取組内容

2つの実証実験を実施

- リムジンバス300台による約6か月の情報配信実証実験（2015年9月～）
 - 観光情報配信
 - 防災情報配信
 - センサー情報収集・公開
- 田園調布で開催のグリーンフェスタのイベントでの防災・地域情報配信実験（2015年10月）
 - 観光情報配信
 - 防災情報配信

BeaconCast技術の主な特徴

- スマホアプリを立ち上げるだけで情報を受信（ゼロコンフィグ）
- 不特定多数にリアルタイムに情報配信
- 災害時でも局所通信にて端末同士や局所サーバと端末間で情報の配信が可能

■ 事業終了以降の展望・取組内容

本事業を地方創生・地域活性化の成功モデルケースとして他地方・他地域への展開を行う
2020年の東京オリンピックに向けた海外からの外国人観光客対象としたサービス展開を行う